

令和四年度 電力利用効率化講演会を開催しました

省エネルギー月間行事の一環として、省エネルギー及び電力有効活用の啓発・推進を目的とした講演会を、九州電力株式会社と共催で開催いたしました。

一昨年度・昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大のため、Web形式で実施しました。

- ・ 事前に収録した講演動画を視聴可能なURLを賛助会員各社に送付
- ・ 省エネルギー月間(2月)中は、いつでも何度でも視聴が可能(インターネット接続環境が必要)

本講演会では、企業等の省エネルギー改善事例や主要メーカーの省エネルギー製品・システムを紹介するとともに、2050年カーボンニュートラル実現に向けた意識啓発に関する講演を実施しました。

講演者・講演内容等については、以下のとおりです。

テーマ	講演者 「講演タイトル」	講演内容
省エネルギー 政策の動向	九州経済産業局 エネルギー対策課 「省エネルギー政策 の動向」	「2050年カーボンニュートラル実現」に必要となる2030年での温室効果ガス▲46%削減の達成に向けて、そのポイントとなる「需要側の取組みの方向性」、「省エネの深掘り」、「非化石エネルギー導入拡大等の新たな取組み」を解説するとともに、産業・民生・運輸の各部門における改正省エネ法の規制内容、また、令和5年度以降の省エネ補助金等の支援策を説明。
省エネルギー 改善事例紹介	福德長酒類(株) 「酒類工場の省エネ事 例発表」	本格焼酎の蒸留廃液処理工程への電化(ヒートポンプ活用)の導入事例を紹介。処理方法を焼却から濃縮へ変更したことで、エネルギーコストを大幅に削減し、エネルギー原単位やCO ₂ 排出量を改善するとともに、メンテナンス費用の削減や省力化・省人化も実現。
省エネルギー製品・システム紹介	三菱重工冷熱(株) 「ヒートポンプとその適用 例 ～カーボンニュート ラルに向けて～」 「三菱重工高効率ターボ 冷凍機について」	ヒートポンプ(HP)による排熱リサイクルや未利用エネルギー活用により、エネルギー消費を削減し、持続可能な低炭素社会の実現を図る。自社HP製品を説明し、農業用ハウス温度管理、入浴施設での給湯、大空間の加熱空調等の導入事例を紹介。 また、冷媒規制の動向と、熱回収型ターボ冷凍機、及び、熱源設備全体の最適制御を行う製品「エネコンダクタ」について、製品の説明と冷却工程等への導入事例を紹介。
	東芝キャリア(株) 「ビル用マルチ空調シ ステム『スーパーマル チuシリーズ』省エネ実 証事例のご紹介」	自社製品の特長「省スペース&高効率」、「除霜機能の強化(リバーズ除霜)」、「旧機種との混在運転への対応強化」を説明。 また、最大電力や電力使用量の削減に資する「個別除霜+外気処理」及び「夜間暖房運転」の説明と導入効果を紹介。
	MD I(株) 「熱交換器を用いた工 場排熱活用事例」 (排熱活用、暑さ対策)	工場排熱や井水等の自然熱を活用して、電力使用量や最大電力、また、CO ₂ 排出量の削減を図る仕組みを説明し、食品製造・焼入・塗装乾燥等の生産工程、コンプレッサー室や農業用ハウスの温度管理等への導入事例を紹介。また、錆や赤水による冷却水中の汚れへの対策も紹介。
	人吉アサノ電機(株) 九電ネクスト(株) 「エネルギー削減に寄 与する空調制御サービ スの紹介」	空調は、業種を問わず電力需要に占める割合が高く、電気料金の削減にはきめ細やかな空調の制御が重要となる。 最大需要電力を監視する「電衛門クラウド」、また、これと連携して空調を制御する「エレワイズ」について、人吉アサノ電機・九電ネクスト共同で、システムの概要と導入事例を紹介。
2050年カーボンニュートラル実現 に向けた省エネルギー意識啓発	(公財)地球環境産業技術 研究機構 山地 憲治 理 事長 「カーボンニュートラ ル実現における電化と 省エネの役割」	地球温暖化対策に関する最近の動向、及び、我が国のカーボンニュートラル実現戦略を解説し、戦略実現における課題を示唆するとともに、電化と省エネが果たす役割を述べる。 また、地球温暖化対策の基本構造、及び、デジタル化による省資源・省エネの推進についても説明。
	神戸大学大学院 経営学研 究科 鈴木 竜太 教授 「省エネを推進するため にー組織行動論から見る 省エネ推進の盲点ー」	「省エネ推進」に反対する人はいないが、そのために自分の仕事のやり方が変わる、または自分の仕事が増えるのは受け入れ辛い、というのが実情。省エネの取組みが習慣付くためのポイントについて、「なぜ人々は行動しないのか」、または「どうしたら行動するようになるか」という組織行動論の観点から講演。